

御所御くハしこんぶ品々

一花こんぶ 一かつらこんぶ 一さざみこんぶ

〔書言字考節用集六服食〕初ア熟チ麥ザシ

〔枕草子九〕三條の宮におはします比、五日のさうぶのこしなどもちてまいり、略中あをざしといふものを、人のもてきたるを、青きうすやうを艶なるすゞりのふたにしきて、これませこしにさふらへばとてまいらせたれば、

皆人は花やてふやといそぐ日もわがこゝろをば君ぞしりけると、紙のはしを引やりて、か、せ給へるもいとめでたし、

〔枕草子春曙抄九〕青麥にて調したる菓子也、

〔嬉遊笑覽十上飲食〕芭蕉發句說叢、青ざしや草餅の穂に出つらん、句解云、青ざしは麥を煎て調したる菓子なり、上臈もきこしめすにや、枕草子青ざしと云物を、人のもてくるを云々、二夜問答に云此句意は麥の穂のわかきをすりて、すこしくものを作る故に、それがほと成て出つらんと云意なるべし、時節の觀想なり、夏山雜談に、青ざしと云ものは青麥にて製したる菓子なり、古へは高貴もめされたる物なり、今民間に用る青ざしもこれなるにや、

〔書言字考節用集六服食〕洲濱ス豆又飴云

〔雍州府志土六產〕洲濱飴 或謂豆飴、麥芽大豆細末煉之、作三角竿形、然以竹籜包裹之、食去竹籜薄截之、其狀似海濱洲、故今專謂洲濱、所々製之、然四條南室町、松本町所製爲佳、

〔和漢三才圖會百五造醃餠〕音鬱、俗云豆、鄰、水清石見

按字彙云、飴和豆曰饗、造法大豆炒爲粉、用濕飴溲之、如繩形、或挾竹縛固切之、如齶形者、名須波末、

〔明和京羽二重大全三〕洲濱所新増